

# 看護ひろしま

広島県看護協会報

令和5年度事業計画

2023  
April  
No.248

4

相互交流派遣研修事業報告

新型コロナウイルス感染症対策  
潜在看護師の活躍

【保健師コーナー】  
令和4年度地域保健・産業保健フォーラム  
令和4年度三職能合同研究会

【助産師コーナー】  
第2回助産師職能研究会報告

【Topics】  
令和5年度広島県看護協会の奨学金募集  
令和5年度看護研究倫理審査について  
看護師等の届出制度  
図書室視聴覚資料のご案内

【Information】  
広島サミット県民会議  
看護生涯教育・研究センターからのお知らせ

令和5年度  
広島県看護協会通常総会  
と き／令和5年6月24日（土）  
13:00～16:00  
ところ／リーガロイヤルホテル広島  
プログラム／通常総会

令和5年度  
「看護の日」広島県大会  
と き／令和5年5月27日（土）  
13:00～16:00  
ところ／広島国際会議場  
フェニックスホール  
プログラム／・式典  
・アトラクション（書道パフォーマンス）  
・講演（コシノジュンコ氏）



Hiroshima Nursing Association  
広島県看護協会

会員数／合計18,579人

(令和5年4月1日現在)

# 公益社団法人 広島県看護協会 令和5年度 事業計画

## 重点事項

- ① 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築
- ② 看護職の人材確保と定着推進

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業を推進していくために、定款第4条に沿って以下の事業を行います。

### I 公益目的事業

#### 看護の質の向上に関する事業

専門分野における最新の知見等の情報を発信し、医療現場等における看護の質向上を図る。

- ① 看護の専門性を高める教育と生涯学習の支援
  - 生涯教育研修の推進
    - ・新人研修・ジェネラリスト研修・スペシャリスト研修
    - ・看護管理者研修・看護指導者研修
    - ・卒後2～3年目を対象とした集合研修
    - ・認定看護管理者教育課程
  - 看護研究活動の支援
  - キャリアスへの登録推進
  - 図書サービスの充実
- ② 保健師・助産師・看護師職能に関する活動
  - 保健師職能の活動 保健師職能研究会等
  - 助産師職能の活動 助産師職能研究会等
  - 看護師職能の活動 看護師職能研究会等
  - 三職能合同研究会の企画・運営
  - 日本看護協会職能委員会との連携
- ③ 医療安全対策の推進
  - 医療事故防止の推進
  - 医療安全管理者の養成等

### III 公益目的事業

#### 看護職の人材確保と定着推進に関する事業

行政や関係機関と連携し、ナースセンターの活用(求職・求人相談、就業斡旋)促進、ハローワーク等へ出張相談、未就業の看護職へ復職のための研修やセミナー及び看護職員の働き続けられる職場づくりの支援等を行う。  
また、看護職の確保を効果的に推進していくため、地域の実情を踏まえた地域別偏在に係る対策を図る。

- ① ナースセンター事業の推進
  - 再就業促進事業
    - ・就業相談会の開催(広島・福山)
  - 看護職員復職支援事業
    - ・協力病院及び協力訪問看護ステーションにおける実践研修・事前研修
  - 看護職員確保対策推進事業
    - ・サテライト福山の相談体制の推進
    - ・早期離職者就業促進(いきいき子育て中のナースカフェ等)
    - ・看護職離職時等届出の推進
- ② ワークライフバランス推進事業
  - ・働き続けられる職場環境づくりの支援(アドバイザー派遣)
  - ・相談体制の整備(広島・福山)
- ③ 広島県版自己点検ツール「チャレンジ」推進事業

### II 公益目的事業

#### 調査研究及び看護制度等の提言に関する事業

日本看護協会や関係行政等が実施する調査への協力を含め、看護実践に根ざした看護に係わる調査等を実施する。

- ① 看護に係る実態調査等の実施
- ② 日本看護協会等関係機関・団体の調査への協力
- ③ 看護業務及び看護制度の改善等に関する情報提供

### IV 公益目的事業

#### 在宅ケアの推進及び地域住民の健康増進に関する事業

ケアを必要とする県民が安心して在宅療養ができるよう多様なニーズに対応する訪問看護サービスを提供するため、医療機関、行政等との連携強化を図り、訪問看護ステーションにおける看護サービスの向上を図る取り組みを行う。また、支部が中心となり県民の健康な生活を実現するために、関係機関等と連携し、地域住民の健康維持・増進の普及啓発を目的として「まちの保健室」等を開催する。

- ① 協会立訪問看護ステーション事業の推進
  - 訪問看護ステーション5カ所、居宅介護支援事業所5カ所、及び広島市から委託を受けた地域包括支援センター1カ所
  - 地域の多様なニーズに対応できる訪問看護の提供
    - ・24時間訪問看護体制の充実
    - ・医療依存度の高い在宅療養者及び家族への支援
    - ・感染症・災害発生時等の「業務継続計画」の整備
    - ・訪問看護記録等のICTの活用
    - ・専門性の高い看護師の育成
  - 地域における多職種との連携強化
    - ・在宅医療介護連携の推進
    - ・地域の訪問看護ステーションとのネットワーク構築
- ② 在宅医療の人材確保のための推進事業
  - 訪問看護師育成支援
    - ・新卒等訪問看護師指導者育成研修等
  - 訪問看護版インターンシップ
  - セカンドキャリアの活用
    - ・プラチナナース支援研修
- ③ 地域看護連携の推進
  - 医療機関と訪問看護ステーションとの相互交流派遣研修
  - 病院から訪問看護ステーションへの出向
  - 退院支援・退院調整看護師の育成及び連携
- ④ 県民への健康増進事業の推進
  - ・健康増進・介護予防に関する活動
  - ・子育て支援に関する活動
  - ・小児救急医療電話相談(#8000)

### V 公益目的事業

#### 看護の普及啓発に関する事業

毎年、5月12日を中心に「看護の日」広島県大会の開催や「看護週間」関連事業をとらして、看護職や県民が看護に関する心と理解を深められるよう看護の魅力や重要性を伝える。

- ① 「看護の心」普及啓発事業
  - 「看護の日」広島県大会(会場：広島国際会議場 5/27)
  - 進路相談会
  - ふれあい看護体験
  - 看護の出前授業
- ② 看護広報事業

### VII 公益目的事業 収益事業等 法人管理事業

#### その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業運営に必要な会議の開催や行政機関及び関連団体等の活動に協力し、他職種と連携しながら公益活動を行う。会員支援については、看護管理者を対象とした研究会の実施を継続するとともに会員の福利厚生及び本会規程に基づく奨学助成を実施する。

#### 【諸会議の開催・支部活動及び会員支援に関する事業等】

- 理事会：年6回程度
- 支部長会：年3回
- 将来構想検討委員会
- 広島県看護協会75周年記念誌編集委員会
- 新任支部役員連絡会議・事務職員連絡会議
- 看護管理者(看護管理者、中間看護管理者)研究会
- 広島県看護協会会館の管理・運営
  - ・適正な財産管理
  - ・会館の維持管理、会館機能の充実

## TOPICS

### 令和5年度広島県看護協会 奨学金の募集が始まりました

- 募集期間 令和5年4月1日から6月末日
- 奨学生の資格 広島県看護協会会員であり、卒業又は修了後1年以内に広島県内に看護職として就職し、右表の貸与の対象に該当する者

右記とは別に、「広島県看護協会齊藤利子奨学金」があります。それぞれ詳細は広島県看護協会HPをご参照ください。

▶広島県看護協会HP <https://www.nurse-hiroshima.or.jp/?admission=scholarship>

貸与の対象		貸与期間	貸与金額
看護系大学院の在学学生	修士課程	2年間	月額 50,000円
	博士課程	3年間	
保健師学校養成所・助産師学校養成所の在学学生		1年間	月額 20,000円
看護系大学の編入学生(3年次・4年次在学学生)		正規の就学年限	月額 30,000円
看護師養成所の在学学生	全日制・通信課程	2年間	月額 20,000円
	定時制	1年間(実習期間)	月額 30,000円
日本看護協会が認定した認定看護師教育課程の研修生		1年以内	月額100,000円

お問い合わせ  
総務部 (082-293-3362)

# 相互交流派遣研修事業報告

相互交流派遣研修事業は、病院や訪問看護ステーションで働く看護師がお互いの現場に出向き、現状を体験することで理解を深め、切れ目のないサービスが提供できるようになることを目的に実施しています。今年は、20組40施設が事業に参加されました。

参加者からは「実際に退院後の生活をみて、自分たちの退院指導を振り返る機会になった」や「顔の見える関係が深まり連携しやすくなった」等の意見があり、満足度の高い研修でした。

## 医療法人 達磨会 井上病院

看護管理者の立場から

看護部長 菊屋 亜由子

### 成果・今後に期待すること

今回、協会から紹介があり事業に初参加させていただきました。当院は呼吸器・消化器疾患の方が多く、ターミナルや認知症の入院患者もおられ退院支援を行う上でも苦慮しているケースがあります。入院生活は精神的にも限界があります。在宅というチームの中でその人らしい生活を送ることが出来れば環境はかなり変化すると思います。そうなる手助けとなる訪問看護師の活躍が重要になってきます。当院へ研修に来られた訪問看護師さんから、「訪問看護は病院とは全く違う分野で、本人及び家族の不安はあると思いますがサポートしていきます」と反対に私達にたくさんのことを教えて下さいました。本研修は双方の理解を深め今後の看護に繋げる機会になりました。



カンファレンスの様子

研修生の立場から

佐藤 さゆり

### 訪問看護の研修を通して

看護師の相互交流派遣事業の研修に声をかけていただき、以前より興味深かった在宅医療の現場を経験することが出来ました。

私は、病棟で退院支援をしていますが、患者さんの自宅での生活をイメージする時、つい病院目線で見てしまい、在宅では難しいのでは…?と、なかなか退院に繋げていけないケースも多かったです。

しかし、今回の研修を通して、医療行為の多い人や独居の人でも、支援を受けながら生活している事を実際に目にし、このように関わってもらえるなら、もっと在宅に向けて背中を押してもらいたいなと思いました。そして、今自分が行っている退院指導についても振り返り、見直す良い機会にも繋がりました。訪問に同行し、経験出来た事を今後の看護に生かしていきたいと思っています。

石原さん(写真下段左)、新谷さん(写真下段右)



## 福山市医師会 訪問看護ステーション

看護管理者の立場から

管理者 石原 喜和子

### 相互交流研修でのまなび

「相互交流研修」に参加し、研修者は病院で行われる最新の医療・看護に触れ、日ごろ在宅の場で対象としている療養者が外来や入院の場でどのような医療を受けているのか学ぶことができました。ステーションとしては、在宅療養の場を実際に見学し、生活の場がどういった様子なのかまた訪問看護の内容・役割ご自身の五感を使って感じ学んでいただけました。病院からの視点で連携についてもご意見を聞き、お互いの立場で暮らす療養者のためにできることを考えるきっかけとなりました。活動の場は異なっても、めざす看護は同じであり、今後ますます切れ目のない看護を提供できるようお互いに協力しあえる関係になれたのではないかと思います。

研修生の立場から

新谷 淳子

### 研修での学びを実践に生かす

今回の研修では臨床において患者から信頼される安全な医療を目指す姿に感銘を受けました。

その中でもミーティングでは院内全体の予定をスタッフに周知し、多職種間の連携の強化と質の高い医療の提供に取り組みられている所を見ることができました。フローチャートから様々なリスクを抽出し予測に基づいた看護を行い、繰り返し評価することで早期退院を実現していました。感染症対策として看護師のみでなく全職員が予防具の安全な着脱を習得されていました。患者へも忙しい中、分かりやすい丁寧な言葉で接する姿に安心感が感じられました。今回学んだ事を実際の看護と照らし合わせ自己の成長に繋げていきたいです。

# 新型コロナウイルス感染症対策 潜在看護師の活躍

昨年度、クラスターが多発する中、広島県看護協会・ナースセンター・広島県が連携して県内の施設に多くの潜在看護師を派遣しました。派遣された全ての方が使命感を持って現場で看護力を発揮していただきました。

## コロナ対応派遣での出会い

野村 悠美子

コロナ禍で医療現場の逼迫が続いていることをニュースで見ると、私にも何かできることはないかと思っていたところ、応援のお話がありました。

病院や特養など様々な施設のグリーンゾーンやレッドゾーンで、検温や吸引、点滴などの看護を実施させていただきました。スタッフの方々は、大変な状況の中でも患者さんや利用者さんを守るために懸命に働かれていました。どこの施設の方も温かく迎え、一緒に働きやすい雰囲気を作ってくださいました。不慣れな場所で働く緊張感や応援、感染管理に対する認識の違いなど大変なこともありますが、ナースセンターのサポートもあり、看護職の一員として少しでも役に立てたら、と願いながら応援に行かせてもらいました。

病院を退職後、看護技術を実践する機会がなくなったことを少し寂しく感じていましたが、こうした機会があることを有り難く感じています。何より、応援先で患者さんや利用者さんとお話して癒しをいただきました。

臨床現場ではまだまだ過酷な状況が続いていることを元同僚たちから聞きます。一日も早く臨床のスタッフの方々が通常通り働ける日が来ることを願い、少しでも戦力となれるよう尽力したいと思います。



### ナースセンターからのお知らせ

## 看護師等の届出制度とは

看護職の免許を持ちながら看護師等の仕事に就いていない方や離職時に、住所、氏名、連絡先、免許番号などの事項をナースセンターに届け出ていただく制度です。

ナースセンターは、届出の情報をもとに、一人ひとりの相談に応じたアドバイスや復職に向けた研修、求人情報の提供、職業紹介等を行い就職活動のサポートをしています。

届出登録後、引き続き「eナースセンター」(就職探しの窓口です)へ登録をしていただくと**自宅でも求人情報の検索が可能**です。

看護師等の届出サイト  
とどけるん

2015年10月より、「看護師等の届出制度」が始まりました。

保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をお持ちで、お仕事されていない方は、「看護師等の届出制度」に基づき、転職先の「ナースセンター」へ届け出ることが新義務になりました。

届出登録はこちら

検索窓から検索

届出制度とは ナースセンターとは 届出登録のコンプライアンスのご案内 よくあるご質問

令和4年度  
地域保健・産業  
保健フォーラム

## 働く女性の健康を考える

～不妊治療から子育てまで～

保健師職能委員会

小田 純子

(広島県健康福祉局 子供未来応援課 プラン推進グループ)

近年、社会的な性差は縮小してきたとはいえ、今も不妊治療や子育てと仕事の両立は大きな課題であり、離職理由にもなり得るため、「地産\*で連携して女性への支援を考えたい」という思いからシンポジウムを企画しました。

座長は豊田紳敬先生(県産婦人科医会)、シンポジストは伊藤千里保健師(西日本旅客鉄道株式会社)、梅田真紀課長(県子供未来応援課)、有地美奈子相談員(県不妊専門相談センター)、野吹優係長(三次市健康推進課)という、各分野の第一人者の方々です。



豊田紳敬先生

シンポジウムは現状の紹介だけでなく、「行政の不妊治療支援や母子保健事業が産業保健師に知られていない」など課題提起にもつながる内容でした。

また、研究会のまとめとして豊田先生が話された「次世代の健康のために重要な妊娠可能年齢以前からのプレコンセプションケア」を、新たな視点と感じた保健師も多かったのではな



4人のシンポジスト

いでしょうか。

今回の研究会は、地産保健師と一緒に学べる貴重な時間になりました。また、保健師だけでなく助産師、看護師の参加もあり、職種を越えた交流が持てたことにも意義がありました。今後も、分野を越えた連携を考えていきましょう。

※地産：地域保健・産業保健



グループワーク

令和4年度  
三職能合同  
研究会

## つなごう、看護の手

～生きづらさを抱える方への支援～

保健師職能委員会

岡崎 美幸

(福山市市民局 北部支所 北部保健福祉課)

今回、紙屋町こころのクリニック院長皆川英明先生をお招きし、「大人の発達障害を理解しよう～生きづらさを抱える方への支援～」をテーマに研究会を開催しました。

講演では、神経発達障害、自閉症スペクトラム障害(ASD)と注意欠陥/多動障害(ADHD)それぞれの特徴や違い、社会に出る頃になって初めて顕在化してくる大人の発達障害について事例をもとに分かりやすくお話くださいました。また、神経発達障害の特性を踏まえた関わり方の留意点など具体的に紹介していただ



皆川英明先生

き、業務上だけでなく職場やプライベートでも活用できる有意義な講演でした。

グループワークでは、皆さん、すぐにうちとけて熱心に意見交換を行うことができ、「資格や職場が違っても同じ看護職として課題を共有し繋がり

あいたい」「共通のテーマにそれぞれの立場から参加し交流できる機会としてよい企画だと思いました」等の感想をいただきました。

保健師・助産師・看護師が一堂に会し、顔を合わせて意見交換や情報交換ができ、貴重な機会となりました。



第2回  
助産師職能  
研究会報告

## 明日から使える妊娠期の 保健指導

助産師職能委員会  
北村 万由美  
(広島国際大学)

11月19日(土)、にしだ助産所所長、西田啓子先生をお迎えして第2回研究会を行いました。臨床や地域で妊婦に関わる保健師2名、助産師16名、看護師2名の参加がありました。4人1グループになり、グループワークを交えながらのご講演で、安全な出産に向けて、妊娠期に必要な具体的な保健指導内容について学びました。また、参加者が交流することで他者の経験を共有し、日頃の自分の姿勢に気づくこともできました。何気ない言動が妊婦の心を閉ざしていないか、コミュニケーションの取り方な

どは適切か、「信頼関係を築く」方法について考えることができました。めまぐるしく変化する社会や個々の背景・価値観を理解し、一人ひとりの妊婦に寄り添う、共感する態度に関わる重要性を再認識する機会となりました。

助産師職能委員会は、これからも専門職として大切にすべき内容を具体的かつ実践的に考えることができる研究会を企画します。皆様のご参加をお待ちしています。



西田啓子先生



## 令和5年度看護研究倫理審査について

看護研究倫理審査委員会 委員長  
村田由香 (日本赤十字広島看護大学)

令和5年度も看護研究倫理審査を2回(7月、9月)行います。  
「看護研究倫理審査の手引き」、申請書類の様式は広島県看護協会ホームページからダウンロードできます。

対象	本会会員が所属する施設に研究倫理審査委員会等が設置されていない場合で、本会会員が倫理審査の申請者(研究責任者)であり、学会等(本会支部研究発表会も含む)で研究成果を公表する予定の者 ※支部看護研究サポート等で指導を受けている場合、指導者の許可を得て申請ください。 ※5月に本会で開催予定の研修「看護研究における倫理と研究の進め方」を受講することが望ましい。
申請方法	「看護研究倫理審査の手引き」をご覧ください。
審査書類受付	① 第1回：6月14日(水) 締切    ② 第2回：8月16日(水) 締切    (締切日必着)
問合わせ先	(公社) 広島県看護協会 看護生涯教育・研究センター 看護研究倫理審査委員会事務局 TEL 082-503-2381

## 図書室視聴覚資料のご案内

図書室では、現在511巻の視聴覚資料を所蔵しています。この度新たに購入したDVD6本をご紹介します。

- ①ゼロから学ぶ 医療現場の接遇・トラブル対応  
～感染症拡大時、ネット時代に備える～
- ②医療現場における性の多様性(全2巻)  
「第1巻 受付・診察での事例」「第2巻 病室・職場での事例」
- ③観察力と分析力を鍛える!高齢者のヘルスアセスメント  
「1. 外来・入院編」「2. 介護老人保健施設・在宅編」  
「3. 病院・在宅編」



その他、所蔵資料についてはホームページに掲載しております。是非ご活用ください!



お問い合わせ先  
広島県看護協会図書・情報管理室  
TEL・FAX 082-296-5079  
E-mail tosoyo@nurse-hiroshima.or.jp

# G7広島サミットを成功させよう!

広島県看護協会は、G7広島サミットを、広島県民の方々と盛り上げていくため、中国新聞社が広島サミット県民会議と連携し立ち上げた「Smile for Peace Project」に参加しています。このProjectの一環として令和5年4月7日(金)の中国新聞に42日目のカウントダウン記事を投稿しました。



## Information

### 看護生涯教育・研究センターからのお知らせ

令和5年度より、一部の研修は申込用紙から施設毎のWEB申込へ変わります!



①看護管理者が、施設毎に受講申込者を取りまとめて本会ホームページからWEB申込をしてください。

本会ホームページ ⇒ 教育計画 ⇒ 2023年度 ⇒ 各研修ページから申込入力 ⇒ 申込完了

②受講申込の際の入力項目

事前に下記の入力項目をお手元にご準備のうえ申込みください

①施設No. (4ケタ)

※会員施設の方は、広島県看護協会会員名簿をご確認ください

②施設名・施設郵便番号・施設住所

- ・電話番号(緊急連絡先)
- ・メールアドレス

③看護管理者等

- ・職位・氏名・フリガナ

④受講申込者

- ・広島県看護協会会員番号
- ・日本看護協会会員番号(会員のみのみ)
- ・氏名・フリガナ・生年月日・職種
- ・職位等

### 施設毎 申込フォーム 画面イメージ

STEP1 申込情報の入力

STEP2 入力内容の確認

STEP3 申込完了

必須 研修会: 999 | 研修会名

必須 施設区分:  会員施設  非会員施設 (会員施設を選択時のみ表示 ※非会員施設の場合は空欄で登録)

必須 施設No: (4桁) ※広島県看護協会会員名簿をご確認ください。

必須 施設名

必須 施設住所: 郵便番号, 都道府県, 市区町村・番地

必須 電話番号(緊急連絡先)

必須 メールアドレス ※メールアドレスを入力し申込内容を送信すると登録完了メールが自動送信されます。受信するメールのドメイン指定をしている場合は「@nurse-hiroshima.or.jp」が受信できるように設定してからお申込みください。

必須 看護管理者等(トップマネジャー)の氏名: 姓, 名

必須 フリガナ: セイ, メイ

必須 看護管理者等(トップマネジャー)の職位: 1.看護部長職 2.その他管理職 「その他管理職」を選択した場合は入力してください

必須 看護管理者等(トップマネジャー)の承認:  看護管理者等(トップマネジャー)本人が入力します  代理入力(看護管理者等の承認を得て入力します)

受講申込者

+ 受講申込者を追加 この研修会は●名まで入力可能です。 (会員他県会員非会員)

申込No	会員区分	職種
1	広島県看護協会会員番号	職位
	日本看護協会会員番号	部署 (例) 地域包括ケア病棟・外来等
	氏名	通算実務経験年数
	フリガナ	当研修に関連した施設内の役割 (例) 教育委員、医療安全委員等
	生年月日	推薦理由(任意入力)
	性別(任意入力)	

× 削除

+ 受講申込者を追加 この研修会は●名まで入力可能です。

※画面イメージです。



### 食～ひろしまが育む風景～ 表紙の写真/酒(西条町)

今年度より白衣では、広報委員の元気の源「食～ひろしまが育む風景～」をテーマに、協会員の皆様に元気が出る風景・メッセージをお届けします。第1回目は、西条町の「酒」です。西条は兵庫県の灘・京都府の伏見とともに「日本三大銘醸地」と称され、「酒都」西条と称し西条駅周辺の環境を重要な観光資源として位置づけ、酒まつりなどイベントを開催しています。11月の酒を仕込む時期には、各酒蔵からほろ酔い気分の湯気が赤レンガの煙突から立ち上ります。コロナが落ち着き、また皆で千鳥足のワルツを踊れる日を願い、今日も一人晩酌しております。乾杯♪

(井上 聖)

広島県看護協会報 看護ひろしま

4月号/248号  
発行 2023年4月  
発行所 公益社団法人 広島県看護協会  
〒730-0803  
広島市中区広瀬北町9-2  
TEL:082-293-3362  
発行責任者 山本 恭子

編集 広報委員会  
制作 有限会社バル